



## 2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月13日

上場会社名 黒田精工株式会社 上場取引所 東  
コード番号 7726 URL <http://www.kuroda-precision.co.jp/>  
代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 黒田 浩史  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 荻窪 康裕 TEL 044-555-3800  
半期報告書提出予定日 2024年11月14日 配当支払開始予定日 ー  
決算補足説明資料作成の有無：有  
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	8,783	△1.8	406	30.2	308	△32.0	209	△26.6
2024年3月期中間期	8,942	△15.9	311	△53.0	453	△55.8	284	△56.7

(注) 包括利益 2025年3月期中間期 △5百万円 (ー%) 2024年3月期中間期 653百万円 (△10.0%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	36.66	—
2024年3月期中間期	50.03	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期中間期	24,135	11,509	47.0	1,985.54
2024年3月期	25,884	11,697	44.5	2,019.39

(参考) 自己資本 2025年3月期中間期 11,341百万円 2024年3月期 11,508百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	—	—	35.00	35.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	—	—	38.00	38.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,000	8.1	1,100	88.6	1,050	24.3	700	40.4	122.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無  
新規 ー社 (社名)、除外 ー社 (社名)
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期中間期	5,719,934株	2024年3月期	5,706,942株
② 期末自己株式数	2025年3月期中間期	7,730株	2024年3月期	7,710株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2025年3月期中間期	5,705,720株	2024年3月期中間期	5,692,368株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予測の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 中間連結貸借対照表 .....	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 .....	6
中間連結損益計算書 .....	6
中間連結包括利益計算書 .....	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	9
(セグメント情報等の注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	10
(重要な後発事象) .....	10

## 1. 当中間決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間における世界経済は、中東情勢の緊迫化や長期化するウクライナでの紛争に加え、中国経済の減速などの影響により、先行き不透明な状況で推移しました。国内経済については、雇用・所得環境が改善するなど緩やかな景気の回復が続きました。

こうした状況下、当社グループの受注高は、家電用モーターコア、工作機械等を中心として各事業とも前年同期比増加し9,506百万円（前年同期比530百万円、5.9%増）となりました。

一方、売上高については、期初受注残の低迷や、長納期品の受注が多かったことの影響を受け8,783百万円（前年同期比158百万円、1.8%減）となりました。

利益面に関しては、売上高が減少したものの利益率の改善努力や品種構成差等が寄与し、連結営業利益は406百万円（前年同期比94百万円、30.2%増）となりました。経常利益は為替差損104百万円の影響等により308百万円（前年同期比145百万円、32.0%減）となり、親会社株主に帰属する中間純利益につきましては、209百万円（前年同期比75百万円、26.6%減）となりました。

セグメントの業績は以下のとおりです。

なお、下記セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高を含めて表示しております。

#### ○ 駆動システム

当セグメントでは、半導体・液晶関連装置市場の回復が当初予想より遅れており、受注高は前年同期より増加したものの3,125百万円（前年同期比138百万円、4.7%増）に留まりました。売上高については期初受注残高の減少の影響もあり3,212百万円（前年同期比165百万円、4.9%減）となりました。

収益面では、売上高は減少した一方、利益率の改善に努め営業利益39百万円（前年同期は営業損失3百万円）となりました。これは、ドイツ子会社が工場移転を実施した際の一時的費用が前年同期の業績を押し下げていた部分が今期は解消したこと、Jena Tecグループののれんの減損損失を昨年度計上したことよりのれんの償却がなくなったこと、及びグループ間の棚卸資産の連結調整等によるものです。

#### ○ 金型システム

当セグメントでは、車載用モーターコアの主要ユーザーの生産調整は継続しているものの家電用モーターコア等が堅調に推移し、受注高は4,420百万円（前年同期比187百万円、4.4%増）となりました。売上高は、車載モーター用金型および家電用モーターコアの売上が増加した一方、車載用モーターコアの減少により4,000百万円（前年同期比8百万円、0.2%減）となりました。利益面においては、利益率の改善努力、品種構成差等が寄与して利益率が改善し、営業利益は465百万円（前年同期比45百万円、10.8%増）の増益となりました。

#### ○ 機工・計測システム

当セグメントでは、工作機械を中心に受注は増加し、受注高は1,966百万円（前年同期比210百万円、12.0%増）となりました。一方売上については要素機器商品の売上減少の影響もあり1,577百万円（前年同期比6百万円、0.4%減）となり、営業損失79百万円（前年同期は営業損失86百万円）の結果となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

当中間連結会計期間末における総資産は24,135百万円となり、前連結会計年度末と比較して1,748百万円減少しました。これは主に投資有価証券の減少等により固定資産が342百万円減少し、売掛債権の減少等により流動資産が1,406百万円減少したことによるものです。

負債合計額は12,626百万円となり、前連結会計年度末と比較して1,560百万円減少しました。これは主に仕入債務等の減少により流動負債が903百万円減少し、長期借入金等の減少により固定負債が656百万円減少したことによるものです。

また、当中間連結会計期間末の純資産は11,509百万円となり、前連結会計年度末と比較して188百万円減少しました。これは主に資本剰余金の増加等により株主資本合計が41百万円増加し、その他有価証券評価差額金等の減少により、その他の包括利益累計額が208百万円減少したことによるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は前連結会計年度末に比較して74百万円増の3,308百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、増加した資金は1,438百万円（前年同期は737百万円の減少）となりました。これは主に仕入債務の減少1,109百万円等により資金が減少した一方、売上債権の減少924百万円、その他の流動負債の増加415百万円等により資金が増加したことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、減少した資金は445百万円（前年同期は744百万円の減少）となりました。これは主に有形固定資産等の取得497百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、減少した資金は988百万円（前年同期は368百万円の増加）となりました。これは主に長期借入金の返済566百万円等により資金が減少したことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の通期連結業績予想につきましては、駆動システム事業の主要顧客である半導体・液晶関連装置市場、金型システム事業の主要顧客であるEVおよびHV、PHVを含む電動車市場の先行きが不透明であり、現在その影響を精査している段階であるため、2024年8月9日に公表した数値を変更しておりません。今後の業績動向を見ながら、修正の必要性が生じた場合には、速やかに開示いたします。

## 2. 中間連結財務諸表及び主な注記

## (1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,256,400	3,329,233
受取手形	113,744	49,433
電子記録債権	245,855	229,808
売掛金	4,353,991	3,479,706
商品及び製品	1,291,178	1,198,703
仕掛品	2,369,161	2,335,271
原材料及び貯蔵品	1,300,008	1,122,079
その他	658,637	437,065
貸倒引当金	△5,115	△3,463
流動資産合計	13,583,862	12,177,839
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,106,735	3,053,739
機械装置及び運搬具(純額)	1,772,777	1,793,186
土地	1,869,755	1,869,755
リース資産(純額)	1,125,115	1,022,150
建設仮勘定	286,195	415,876
その他(純額)	232,756	240,468
有形固定資産合計	8,393,336	8,395,177
無形固定資産		
その他	170,911	170,754
無形固定資産合計	170,911	170,754
投資その他の資産		
投資有価証券	2,639,394	2,117,732
繰延税金資産	921,726	1,050,117
その他	177,036	225,977
貸倒引当金	△1,750	△1,749
投資その他の資産合計	3,736,407	3,392,077
固定資産合計	12,300,656	11,958,009
資産合計	25,884,519	24,135,848

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,011,275	987,521
電子記録債務	2,423,054	1,339,021
短期借入金	2,665,928	2,520,940
リース債務	214,917	200,588
未払法人税等	180,499	176,379
賞与引当金	313,102	300,691
受注損失引当金	545	6,026
資産除去債務	42,324	42,324
その他	1,332,361	1,706,855
流動負債合計	8,184,010	7,280,348
固定負債		
長期借入金	2,747,016	2,223,446
リース債務	953,752	866,805
再評価に係る繰延税金負債	358,749	358,749
役員退職慰労引当金	27,353	28,585
退職給付に係る負債	1,438,453	1,445,596
その他	477,808	423,225
固定負債合計	6,003,134	5,346,409
負債合計	14,187,144	12,626,758
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,930,940	1,941,619
資本剰余金	1,535,753	1,556,729
利益剰余金	5,324,872	5,334,588
自己株式	△9,275	△9,302
株主資本合計	8,782,290	8,823,635
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,285,737	937,061
土地再評価差額金	814,401	814,401
為替換算調整勘定	571,460	711,407
退職給付に係る調整累計額	55,092	55,350
その他の包括利益累計額合計	2,726,691	2,518,220
非支配株主持分	188,392	167,234
純資産合計	11,697,374	11,509,090
負債純資産合計	25,884,519	24,135,848

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書  
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	8,942,271	8,783,461
売上原価	6,695,446	6,516,855
売上総利益	2,246,824	2,266,606
販売費及び一般管理費	1,934,913	1,860,499
営業利益	311,910	406,106
営業外収益		
受取配当金	25,953	25,490
為替差益	135,300	—
設備賃貸料	18,282	19,187
スクラップ売却益	17,417	21,742
受取補償金	6,894	70,050
その他	36,113	20,227
営業外収益合計	239,961	156,697
営業外費用		
支払利息	38,202	49,281
為替差損	—	104,459
持分法による投資損失	9,667	9,740
クレーム対策関連費用	17,537	12,654
補償金原価	3,101	38,148
その他	30,132	40,355
営業外費用合計	98,641	254,640
経常利益	453,231	308,164
特別利益		
固定資産売却益	56	—
投資有価証券売却益	—	89,372
特別利益合計	56	89,372
特別損失		
固定資産除却損	31	0
特別損失合計	31	0
税金等調整前中間純利益	453,255	397,536
法人税、住民税及び事業税	145,844	181,573
法人税等調整額	21,397	22,709
法人税等合計	167,241	204,283
中間純利益	286,013	193,253
非支配株主に帰属する中間純利益又は非支配株主に 帰属する中間純損失(△)	1,177	△15,936
親会社株主に帰属する中間純利益	284,836	209,189



## (中間連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益	286,013	193,253
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	281,356	△348,676
為替換算調整勘定	86,480	149,682
退職給付に係る調整額	△553	258
その他の包括利益合計	367,283	△198,735
中間包括利益	653,297	△5,482
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	649,011	718
非支配株主に係る中間包括利益	4,285	△6,200

## (3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前中間純利益	453,255	397,536
減価償却費	424,489	486,422
のれん償却額	40,327	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△524	△1,696
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△35,171	△8,651
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△185	1,232
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	23,442	7,514
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	△527	5,480
受取利息及び受取配当金	△27,892	△26,652
支払利息	38,202	49,281
持分法による投資損益 (△は益)	9,667	9,740
有形固定資産売却損益 (△は益)	△56	—
有形固定資産除却損	31	0
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△89,372
売上債権の増減額 (△は増加)	92,435	924,670
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△777,282	357,752
仕入債務の増減額 (△は減少)	△939,383	△1,109,587
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	591,688	236,980
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△163,730	415,619
その他	△5,804	△8,602
小計	△277,019	1,647,667
利息及び配当金の受取額	32,874	33,565
利息の支払額	△39,210	△58,716
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△454,330	△183,666
営業活動によるキャッシュ・フロー	△737,686	1,438,849
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△4,000	△4,000
定期預金の払戻による収入	4,000	6,000
投資有価証券の取得による支出	△554	△592
投資有価証券の売却による収入	—	102,221
有形及び無形固定資産の取得による支出	△728,228	△497,468
有形及び無形固定資産の売却による収入	56	—
その他	△15,297	△52,006
投資活動によるキャッシュ・フロー	△744,023	△445,846
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の増減額 (△は減少)	1,200,000	△100,000
長期借入金の返済による支出	△544,627	△566,294
リース債務の返済による支出	△86,295	△118,304
セール・アンド・リースバックによる収入	29,200	—
配当金の支払額	△227,418	△199,473
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	—	△4,647
その他	△2,024	△27
財務活動によるキャッシュ・フロー	368,834	△988,746
現金及び現金同等物に係る換算差額	△42,071	70,576
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,154,947	74,833
現金及び現金同等物の期首残高	3,960,393	3,233,400
現金及び現金同等物の中間期末残高	2,805,445	3,308,233

## (4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	駆動 システム	金型 システム	機工・計測 システム	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,377,404	4,008,718	1,556,149	8,942,271	—	8,942,271
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,437	—	27,743	29,180	△29,180	—
計	3,378,841	4,008,718	1,583,892	8,971,452	△29,180	8,942,271
セグメント利益又は損失 (△)	△3,627	419,911	△86,950	329,333	△17,422	311,910

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△17,422千円は、セグメント間取引消去△1,582千円と報告セグメントに帰属しない一般管理費△15,839千円であります。

2 セグメント利益又は損失は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当中間連結会計期間 (自2024年4月1日 至2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	駆動 システム	金型 システム	機工・計測 システム	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,207,443	4,000,206	1,575,811	8,783,461	—	8,783,461
セグメント間の内部売上高 又は振替高	5,533	—	1,375	6,908	△6,908	—
計	3,212,977	4,000,206	1,577,186	8,790,370	△6,908	8,783,461
セグメント利益又は損失 (△)	39,011	465,349	△79,631	424,729	△18,623	406,106

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△18,623千円は、セグメント間取引消去△522千円と報告セグメントに帰属しない一般管理費△18,100千円であります。

2 セグメント利益又は損失は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

※1 現金及び現金同等物の中間期末残高と中間連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
現金及び預金勘定	2,858,446千円	3,329,233千円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	△53,000	△21,000
現金及び現金同等物	2,805,445	3,308,233

(重要な後発事象)

(連結子会社の吸収合併)

当社は、2024年7月30日開催の取締役会において、当社を吸収合併存続会社、当社の完全子会社であるクロダイインターナショナル株式会社を吸収合併消滅会社とする吸収合併を行うことを決議し、2024年10月1日付で吸収合併を行いました。

## 1. 企業結合の概要

## ①被結合企業の名称及び事業の内容

名称：クロダイインターナショナル株式会社  
事業の内容：空気圧機器のメンテナンス

## ②企業結合日

2024年10月1日

## ③企業結合の法的形式

当社を存続会社とする吸収合併方式で、クロダイインターナショナル株式会社は解散いたします。

## ④結合後企業の名称

変更はありません。

## ⑤企業結合の目的

クロダイインターナショナル株式会社は1973年の創業以来各種コンプレッサーの販売をしてまいりましたが、2022年3月31日をもってロータリーコンプレッサーの販売を終了し、JUN-Airコンプレッサーについては2022年4月をもってジャパンマシナリー株式会社に事業譲渡しております。またメンテナンスについても2027年3月31日をもって終了することとしております。

このような背景の中、当社グループとしての業務効率化を図るため、同社を吸収合併することといたしました。

## 2. 実施する会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 2019年1月16日）及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号 2019年1月16日）に基づき、共通支配下の取引として会計処理を実施する予定であります。